



平成30年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年4月13日

上場取引所 東

上場会社名 ダイト株式会社

コード番号 4577 URL <http://www.daitonet.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大津賀 保信

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 管理本部長 (氏名) 廣野 光夫 TEL 076-421-5665

四半期報告書提出予定日 平成30年4月13日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年5月期第3四半期の連結業績（平成29年6月1日～平成30年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年5月期第3四半期	29,636	6.2	3,185	3.6	3,245	6.7	2,300	12.6
29年5月期第3四半期	27,919	3.4	3,075	11.9	3,041	6.4	2,043	6.9

(注) 包括利益 30年5月期第3四半期 2,530百万円 (29.4%) 29年5月期第3四半期 1,955百万円 (19.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年5月期第3四半期	183.81	—
29年5月期第3四半期	163.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年5月期第3四半期	47,185	27,930	58.2	2,195.60
29年5月期	45,707	25,813	55.5	2,027.00

(参考) 自己資本 30年5月期第3四半期 27,475百万円 29年5月期 25,366百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年5月期	—	15.00	—	18.00	33.00
30年5月期	—	15.00	—	—	—
30年5月期(予想)	—	—	—	18.00	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

3. 平成30年5月期の連結業績予想（平成29年6月1日～平成30年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,500	4.0	4,100	7.0	4,150	7.0	2,850	7.3	227.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年5月期3Q	12,519,064株	29年5月期	12,519,064株
② 期末自己株式数	30年5月期3Q	5,151株	29年5月期	4,921株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年5月期3Q	12,514,006株	29年5月期3Q	12,514,388株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は、T D n e t で同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国新政権の政治動向による悪影響が懸念されましたが、政府・日銀による経済政策や金融緩和を受け、企業収益や雇用情勢の改善が見られ、緩やかな回復基調となりました。

医薬品業界におきましては、平成29年6月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2017」（いわゆる骨太方針2017）にて「2020年（平成32年）9月までに、後発医薬品の使用割合を80%とし、できる限り早期に達成できるよう、更なる使用促進策を検討する」と明記され、ジェネリック医薬品は今後一層、数量シェアの拡大が見込まれております。しかしながら、社会保障費における薬価制度の在り方が政府内で活発に議論され、政府より平成28年12月にこれまで2年に1度であった薬価改定を毎年改定する方針が示されるなど医薬品業界として先行き不透明な状況であり、当社としても一層の経営効率化への努力が求められております。

このような状況のもと、当社グループでは引き続き生産基盤の充実と積極的な営業活動を図っており、平成26年12月に竣工した高薬理活性製剤工場（第七製剤棟）の本格稼働に続き、高薬理活性原薬及び製剤の開発と分析及び治験薬等少量製品の生産を行う「高薬理R&Dセンター」が平成29年6月に竣工しました。また、これらに続き平成29年10月に本社工場敷地内での「第八製剤棟」の建設に着手し、平成30年12月竣工の予定としております。

売上高の販売品目ごとの業績は次のとおりであります。

原薬では、消化性潰瘍剤原薬及び血圧降下剤原薬等の一部のジェネリック医薬品向け原薬の販売は堅調に推移しておりますが、全体的に医療現場での薬剤使用の適正化の影響と大型品目を中心としたAG（オーソライズドジェネリック）の登場により厳しい状況で推移し、売上高は15,684百万円（前年同期比5.8%減）となりました。

製剤では、医療用医薬品において自社開発ジェネリック医薬品の販売増加、新薬や新規長期収載品目の製造受託及び一般用医薬品の販売増加があり好調に推移した結果、売上高は13,715百万円（前年同期比24.6%増）となりました。

健康食品他につきましては、市場の競争激化等により厳しい状況で推移し、売上高は237百万円（前年同期比6.7%減）となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高29,636百万円（前年同期比6.2%増）、営業利益3,185百万円（前年同期比3.6%増）、経常利益3,245百万円（前年同期比6.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,300百万円（前年同期比12.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より1,477百万円増加し、47,185百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少958百万円などがあった一方で、電子記録債権の増加666百万円、商品及び製品の増加1,037百万円、仕掛品の増加206百万円、原材料及び貯蔵品の増加125百万円及び投資有価証券の増加237百万円などがあったことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末より639百万円減少し、19,254百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加216百万円、短期借入金の増加640百万円、引当金の増加279百万円などがあった一方で、未払法人税等の減少832百万円並びに流動負債その他の減少1,104百万円などがあったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末より2,116百万円増加し、27,930百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加1,887百万円などがあったことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度より2.7ポイント増加し、58.2%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年5月期(平成29年6月1日～平成30年5月31日)の通期の連結業績予想につきましては、第3四半期累計期間及び足元での需要予測をもとに、前回発表予想値を下記の通り修正いたしました。

平成30年5月期 通期連結業績予想数値の修正(平成29年6月1日～平成30年5月31日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	40,500	4,100	4,150	2,850	227円74銭
今回発表予想(B)	39,500	4,100	4,150	2,850	227円74銭
増減額(B-A)	△1,000	-	-	-	-
増減率(%)	△2.5%	-	-	-	-
(参考)前期実績 (平成29年5月期通期)	37,984	3,832	3,878	2,656	212円26銭

(修正の理由)

平成30年5月期通期での売上高は、製剤においては好調に推移することが見込まれるものの、原薬において全体的に医療現場での薬剤使用の適正化の影響と大型品目を中心としたAG(オーソライズドジェネリック)の登場により厳しい状況で推移することが見込まれ、全体として減少する見通しです。営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、自社開発ジェネリック医薬品の販売増加及びコストダウン効果、並びに研究開発費の減少等により、前回業績予想から変更はありません。

なお、品目別売上高予想につきましては、本日(平成30年4月13日)別途開示しました「平成30年5月期 第3四半期決算発表補足説明資料」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,617,337	1,657,844
受取手形及び売掛金	9,388,910	8,430,678
電子記録債権	4,200,091	4,866,554
商品及び製品	1,692,226	2,730,059
仕掛品	2,924,846	3,130,969
原材料及び貯蔵品	3,875,897	4,000,910
その他	687,287	719,882
貸倒引当金	△40,881	△38,903
流動資産合計	24,345,715	25,497,995
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,113,312	9,914,532
機械装置及び運搬具(純額)	5,323,269	4,881,207
その他(純額)	3,441,800	3,181,021
有形固定資産合計	17,878,382	17,976,761
無形固定資産		
その他	321,926	304,840
無形固定資産合計	321,926	304,840
投資その他の資産		
投資有価証券	2,829,015	3,066,747
その他	355,211	361,255
貸倒引当金	△22,364	△22,119
投資その他の資産合計	3,161,862	3,405,883
固定資産合計	21,362,172	21,687,485
資産合計	45,707,887	47,185,480
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,587,042	3,803,761
電子記録債務	1,876,801	2,068,856
短期借入金	2,750,000	3,390,000
1年内返済予定の長期借入金	2,054,982	1,924,126
未払法人税等	1,022,116	189,371
引当金	104,034	383,318
その他	3,840,001	2,735,037
流動負債合計	15,234,979	14,494,472
固定負債		
長期借入金	3,694,420	3,713,511
退職給付に係る負債	484,709	498,200
その他	479,896	548,487
固定負債合計	4,659,026	4,760,199
負債合計	19,894,005	19,254,672

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,367,774	4,367,774
資本剰余金	4,253,965	4,253,965
利益剰余金	15,610,119	17,497,399
自己株式	△11,746	△12,456
株主資本合計	24,220,112	26,106,682
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	967,665	1,123,931
為替換算調整勘定	182,613	245,935
退職給付に係る調整累計額	△4,248	△1,062
その他の包括利益累計額合計	1,146,029	1,368,804
非支配株主持分	447,740	455,320
純資産合計	25,813,882	27,930,808
負債純資産合計	45,707,887	47,185,480

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成30年2月28日)
売上高	27,919,155	29,636,902
売上原価	22,014,247	23,462,245
売上総利益	5,904,907	6,174,656
返品調整引当金戻入額	2,374	1,814
差引売上総利益	5,907,281	6,176,471
販売費及び一般管理費	2,831,342	2,991,140
営業利益	3,075,939	3,185,330
営業外収益		
受取利息	647	681
受取配当金	63,479	62,916
受取保証料	8,613	6,710
為替差益	-	1,784
その他	20,583	22,914
営業外収益合計	93,323	95,008
営業外費用		
支払利息	21,807	18,208
支払手数料	4,544	14,923
為替差損	100,706	-
その他	526	1,819
営業外費用合計	127,585	34,951
経常利益	3,041,677	3,245,387
特別利益		
補助金収入	13,380	-
受取保険金	67,316	20,524
特別利益合計	80,696	20,524
特別損失		
固定資産除却損	3,926	525
固定資産圧縮損	11,412	-
特別損失合計	15,339	525
税金等調整前四半期純利益	3,107,033	3,265,386
法人税等	1,084,709	985,177
四半期純利益	2,022,323	2,280,208
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△21,337	△20,036
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,043,661	2,300,244

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成30年2月28日)
四半期純利益	2,022,323	2,280,208
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△144,843	156,266
為替換算調整勘定	△52,783	90,938
退職給付に係る調整額	130,982	3,186
その他の包括利益合計	△66,644	250,391
四半期包括利益	1,955,679	2,530,599
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,993,016	2,523,019
非支配株主に係る四半期包括利益	△37,337	7,580

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年6月1日至平成29年2月28日)

当社の報告セグメントは、「医薬品事業」のみであり、その他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年6月1日至平成30年2月28日)

当社の報告セグメントは、「医薬品事業」のみであり、その他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。